

熊本市における自転車利用意識と通行帯の選択に関する分析

熊本大学 学生員 田中美彩季
熊本大学 正会員 溝上章志

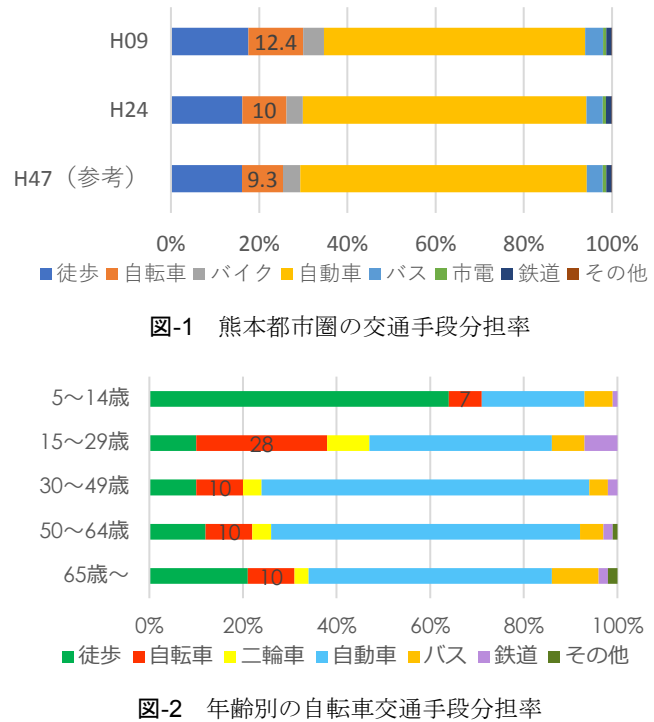
1.はじめに

熊本市では、熊本平野の地形が比較的平坦であることや、中心市街地を中心に自転車で移動できる範囲で街が形成されていることから、日常生活において約1割の人が自転車を利用している。軽車両である自転車は道路交通法上では車道の左側端を走ることが原則となっているが、実際には歩道と車道を適宜選択しながら走行しなければならない。その結果、自転車は自動車からも歩行者からも危険と感じられるため、自転車の走行環境を改善していく必要がある。

本研究では、「熊本市における自転車利用に関するアンケート」から得られる自転車利用者の意識と通行位置の選択の関係性を明らかにすることを目的とする。

2.自転車の利用と走行環境整備

平成24年度に実施された都市圏パーソントリップ調査の結果を図-1、年齢別の自転車交通手段分担率を図-2に示す。自転車の利用率はこの15年間でやや減少しているが、10%程度はある。年齢別にみると、15歳～29歳の利用者が最も自転車を利用している。



これに対して、平成14年度に策定された熊本市自転車利用環境整備実施計画¹⁾では、歩道内において歩行者と自転車の視覚的分離を行うことで走行環境の整備を進めている。平成28年度末時点で計6.35kmの自転車走行空間整備を行っている。

3.熊本市における自転車利用に関するアンケート

熊本市は、平成28年6月～9月に、利用目的（子育て世代の送迎、通学、通勤）別に「利用者熊本市アンケート調査²⁾」を実施した。子育て世代の送迎に関しては、市内の保育園13箇所、高校生の通学に関しては、市内の高等学校21校、社会人の通勤に関しては、市役所・市内の民間企業で調査を行っている。1,561票配布し、1,307票回収したため、回収率は約84%である。アンケート調査での具体的な質問内容を表-1に示す。

ここでは、通行位置についての分析結果を示す。自転車で通行する際の普段の通行位置についての質問に対して交通量の少ない住区内の街路（図-2）と比較的交通量の多い片側1車線の道路（図-3）の写真でアンケートを行ったところ、子育て世代・高校生・社会人のどの属性の人も約6割の人が左側の路側帯を通行すると回答した。また、子育て世代や社会人に比べて高校生は右側を通る割合が高かった。この結果を図-4、図-5に示す。

表-1 アンケート調査での質問の内容

項目	主な調査内容
交通手段の利用実態	・交通手段 ・利用距離 ・自転車利用時の経路 ・自転車利用時の通行位置 ・自転車利用転換に関する意識
交通事故の経験	・自転車事故やヒヤリハットの経験 ・自転車事故の発生箇所 ・ヒヤリハットの発生箇所 ・歩道内の一方通行に対する意見
自転車通行ルール認知度	・自転車通行ルールの認知度
駐輪場整備に対する課題やニーズ	・現状の駐輪箇所 ・駐輪場に関する意見
自転車施策に関するニーズ	・利用者が望む施策



図-2 交通量の少ない住区内の街路



図-3 比較的交通量の多い片側1車線の道路

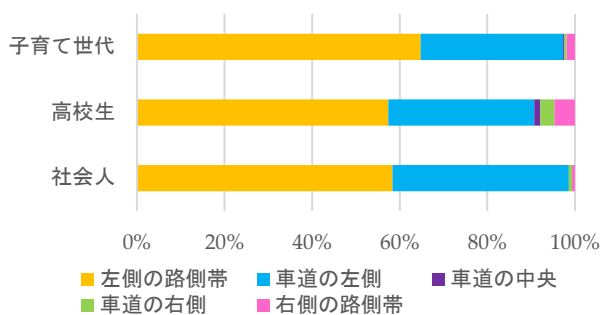


図-4 図-2 の通行位置

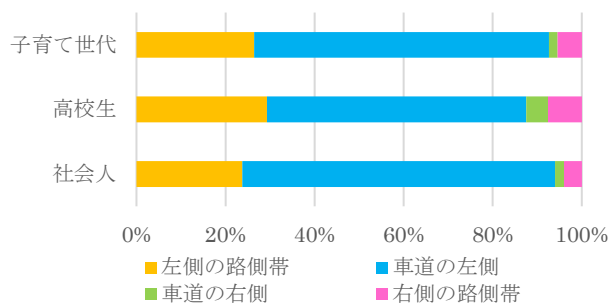


図-5 図-3 の通行位置

さらに、図-2 の道路では、過半数の人が路側帯を通行すると回答しているのに対して、図-3 の道路では過半数の人が車道を通行すると回答している。

次に図-2、図-3 の通行位置を選択するにあたって過去の事故・ヒヤリハットの経験の有無が関係あるのか分析するためにクロス集計を行った。結果として、社会人は事故やヒヤリハットの経験がある人は左側を通行する人が多いのに対して子育て世代、高校生は事故や

ヒヤリハットの経験があるにもかかわらず、右側を通行している人が多いことが分かった。この結果を図-6、図-7 に示す。

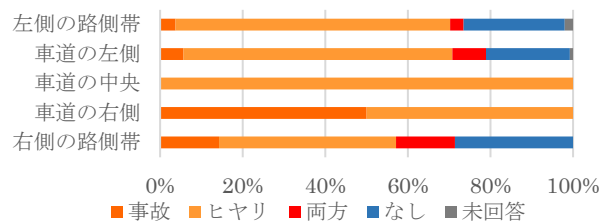


図-6 通行位置と事故・ヒヤリハットの経験（子育て世代）

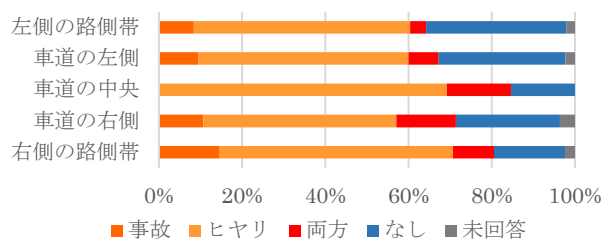


図-7 通行位置と事故・ヒヤリハットの経験（高校生）

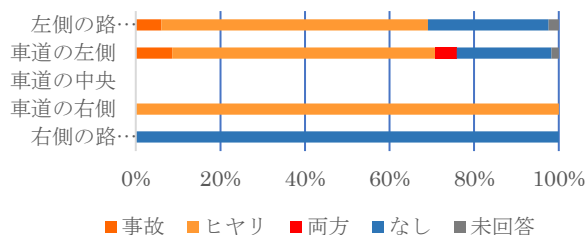


図-8 通行位置と事故・ヒヤリハットの経験（社会人）

さらに、事故・ヒヤリハットの経験がない人は、車道よりも路側帯を通行する人が多いことが分かった。また、子育て世代と社会人は車道の右側を通行すると回答した人は全員、過去に事故・ヒヤリハットの経験があることが分かった。

4. おわりに

現在、性別などの個人属性や居住地域、表-1 に示す事故・ヒヤリハットの経験や自転車通行ルールの認知度などを変数とした通行位置選択モデルの推定を行っているところである。結果は発表会当日に報告する。

参考文献

- 1) 熊本市：第2次熊本市自転車利用環境整備基本計画（中間見直し、）平成30年4月
- 2) 熊本市：熊本市アンケート調査、平成28年。